

第4学年 国語科学習指導案

児童 4年2組 男24名 女14名

指導者 吉 田 洋 倫

育てたい主となる能力(基礎・基本)

・互いの考えの相違点や共通点を考えながら,進んで話し合うこと。

(話・聞 ウ)

1 単元名 よりよい意見にまとめよう

教材名 話し合って決めよう

2 子どもと単元について

(1) 子どもたちは,昨年度,話すこと・聞くことの単元「考えを整理して話し合おう」,教材「名前をつけよう」の学習において,班の名前やチームの名前を決めるために,グループで話し合う言語活動に取り組んだ。これを通して,子どもたちは,理由を加えて意見を話したり,不明な点については質問したりしながら話し合うことができるようになってきた。

今年度は,単元「大事なことを落とさずに話したり聞いたりしよう」,教材「伝言はまちがえずに」の学習で,伝言を聞き取ったり伝えたりする言語活動に取り組んだ。また,単元「調べて発表しよう」,教材「『伝え合う』ということ」では,点字や視覚障害の事などについて調べて発表するという言語活動に取り組んだ。これを通して,子どもたちは,聞き取れなかったところや分からない事は聞き返して正しく聞き取ることや,大事な言葉をゆっくりはっきり話すなどしながら知らせたい事が聞く人によく分かるように発表することができるようになってきたところである。

国語科以外の教科等の学習における話し合い場面でも,理由を加えて発言したり,賛成や反対の立場を明らかにして発言したりする子どもが見られるようになってきた。また,学級会では,進行台本を参考にしたり教師の助言を聞いたりしながらではあるが,意見を整理して結論をまとめる経験を通して,議事進行の力を少しずつ身に付けてきている。

(2) 本単元「よりよい意見にまとめよう」は,一つの意味決定を目指して互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合う力を育てることをねらいとしている。

本教材「話し合って決めよう」では,まず,教材文や話し合いのモデルの録音テープを基に,話し合いの進め方について話し合い,「話題からそれないように発言する」「賛成・反対などの立場をはっきりさせる」「自分と友達の考えをくらべて意見を話す」「体験したことや知っていることを例にあげる」「ほかの人の意見を取り入れてよりよい案を考える」という話し合いのポイントを理解する。次に,解決したい学級の問題をいくつか話題に選び,それらについての意見を書きまとめ,話す練習をする。そして,グループで話し合ったり,学級全体で話し合ったりして,問題を解決する。このように,子どもたちが解決したいという切実感のある問題を話題に取り上げたり,目的や場面・状況を変えた話し合いを発展的に繰り返したりすることから,単元のねらいに迫るために適した教材であると考えられる。

(3) 本単元では,基礎・基本の定着を図るために,互いの考えの相違点や共通点を考えながら,グループや学級全体で話し合うという領域の特性を生かした言語活動を行う。

- ・話し合いの進め方について話し合う。 (「見通す」段階)
- ・学級の問題について、グループで話し合う。 (「深める」段階)
- ・学級の問題について、学級全体で話し合う。 (「広げる」段階)

単元の学習を進めるに当たっては、下記の5つの言語意識を明確にする。

相手意識 グループや学級の友達と

目的意識 学級の問題を解決するために

場面・状況意識 グループや学級全体で話し合う。

方法意識 賛成・反対などの立場をはっきりさせ、互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合う。

評価意識 話し合いのポイントに基づき、自分たちの話し合い方について、自己評価や相互評価をする。

ここで身に付けた「互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合う力」は、国語科・他教科・他領域の学習に生かすことができる。また、生活班や子ども会等の集団活動時の話し合いなど、日常生活にも生かすことができるものとする。

3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	学級の問題について、進んで話し合おうとする。	・学級の問題を解決するために進んで意見を出しながら話し合おうとしている。
話す・聞く能力	学級の問題について、互いの考えの相違点や共通点を理解しながら話し合うことができる。 (話・聞 ウ)	・賛成・反対などの立場をはっきりさせ、自分と友達の考えを比べながら話し合っている。
言語についての 知識・理解・技能	相手やその場の状況に応じて、丁寧な言葉で話すことができる。 (言力(ア))	・相手や状況に応じて、丁寧な言葉で話している。

4 学習指導計画及び評価規準

6時間(話・聞 6)

過程	学習内容と主な学習活動	評価規準 <評価方法>		
		国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	話し合いをする時に気を付けることを話し合うこと ・教材文を読み、本単元の学習の見通しをもつ。 ・話し合いのモデルの録音テープを基に話し合いをする時に気を付けることを話し合う。 ・漢字と語句の練習をする。 1時	教材文や話し合いのモデルの録音テープを基に、話し合いをする時に気を付ける事を考えようとしている。 <発言, 挙手>	互いの考えの相違点や共通点を理解しながら話し合うことを理解している。 <発言, ノート>	相手や状況に応じて、丁寧な言葉で話すことを理解している。 <発言, 挙手>

	<p>進行係が気を付ける事を話し合うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのモデルの録音テープを基に進行係が気を付ける事を話し合う。 ・話題選びの話し合いをする。 <p>2時</p>	<p>教材文や話し合いのモデルの録音テープを基に,進行係が気を付ける事を考えようとしている。</p> <p><発言,挙手></p>	<p>意見を整理したり結論をまとめたりしながら,話題に沿って進行することを理解している。</p> <p><発言,ノート></p>	<p>相手や状況に応じて,丁寧な言葉で話すことを理解している。</p> <p><発言,挙手></p>
深める	<p>話題について自分の意見を話すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題についての意見を考え,書く。 ・意見を話す練習をする。 <p>1時</p>	<p>話題についての意見やその理由を考えようとしている。</p> <p><ノート></p>	<p>具体的な理由を加えて,意見を話している。</p> <p><個別練習></p>	<p>相手や状況に応じて,丁寧な言葉で話している。</p> <p><個別練習></p>
	<p>一つ目の話題について話し合うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに話し合う。 ・話し合い方について相互評価や自己評価をする。 <p>2時</p>	<p>学級の問題を解決するために,進んで話し合おうとしている。</p> <p><態度></p>	<p>話題からそれずに,賛成・反対などの立場をはっきりさせて話し合っている。</p> <p><発言></p>	<p>相手や状況に応じて,丁寧な言葉で話している。</p> <p><発言></p>
	<p>二つ目の話題について話し合うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに話し合う。 ・話し合い方について相互評価や自己評価をする。 <p>本時 3時</p>	<p>学級の問題を解決するために,進んで話し合おうとしている。</p> <p><態度></p>	<p>賛成・反対などの立場をはっきりさせ,互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合っている。</p> <p><発言></p>	<p>相手や状況に応じて,丁寧な言葉で話している。</p> <p><発言></p>
広げる	<p>二つの話題について話し合うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全体で話し合う。 ・話し合い方について自己評価する。 <p>1時</p>	<p>学級の問題を解決するために,進んで話し合おうとしている。</p> <p><態度></p>	<p>賛成・反対などの立場をはっきりさせ,互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合っている。</p> <p><発言></p>	<p>相手や状況に応じて,丁寧な言葉で話している。</p> <p><発言></p>

5 本時の指導

(1) ねらい

学級の問題を解決するために、進んで話し合おうとする。

賛成・反対などの立場をはっきりさせ、互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合うことができる。

(2) 展開

前 時 ま で の 支 援 学 習	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つ目の話題について話し合うこと <p>言語活動</p> <p>グループごとに話し合う。</p> <p>支 援</p> <ul style="list-style-type: none"> 望ましいモデルを提示して話し合いのポイントを確認してからグループごとに話し合うことで、話題からそれずに、賛成・反対などの立場をはっきりさせて話し合うことができるようにする。 		
過 程	学習内容・学習活動	形 態	・支援 「主発問」 評価<評価方法>
つ か む	<p>1 前時までの学習を想起すること (3分)</p> <p>2 本時の学習課題を把握すること (2分)</p> <p>二つ目の話題について話し合おう。</p>	全 全	<p>・これまで話し合いのポイントを学び、前時は実際に一つ目の話題についてグループで話し合ったことを想起させ、本時の学習への意欲につなげる。</p> <p>進んで話し合おうとしているか。</p> <p><表情・挙手></p>
グ ル ー プ で 話 し 合 う	<p>3 話し合いのポイントを確認すること。(10分)</p> <p><話し合いのポイント></p> <p>話題からそれないように発言する。</p> <p>賛成・反対などの立場をはっきりさせる。</p> <p>自分と友達のを考えをくらべて意見を話す。</p> <p>体験したことや、知っていることを例に挙げる。</p> <p>ほかの人の意見を取り入れて、よりよい案を考える。</p> <p>4 二つ目の話題について話し合うこと (15分)</p> <p>(1) 学習の進め方について確認する。</p> <p><学習の進め方></p> <p>提案の意見を出し合う。</p> <p>分からないことを質問する。</p> <p>考えをくらべながら、賛成・反対などの意見を出し合う。</p> <p>意見がまとまったグループは、話し合いのポイントに沿って、ふり返る。</p>	全 全	<p>・掲示資料を振り返ることで、話し合いのポイントを確認できるようにする。</p> <p>・前時の話し合いの様子を望ましい姿のモデルとして提示することで、話し合いのポイントに沿った話し合い方を具体的にイメージできるようにする。</p> <p>・特に のポイントを本時の重点として示し、意識化を図る。</p> <p>・学習の進め方を掲示して確認することで、グループ学習をスムーズに進めることができるようにする。</p>

グループで話し合う	(2) 二つ目の話題について話し合う。	グ	<p>「話し合いのポイントに気を付けながら，班ごとに話し合いましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 賛成・反対などの立場をはっきりさせ，互いの考えの相違点や共通点を考えながら，体験や知識を基にした意見や話し合いをまとめる意見などを出して話し合っている。</p> <p>B 賛成・反対などの立場をはっきりさせ，互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合っている。</p> <p>C への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場をはっきりすることができない子どもには，どの意見に賛成かを確認して，立場を明らかにした発言ができるようにする。 ・意見の相違点や共通点に気付くことができない子どもには，友達の発言を聞き直すことで，判断できるようにする。 <p style="text-align: right;">< 発言 ></p> </div>
	5 各グループの話し合い方のよさを学び合うこと (8分)	全	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの話し合い方のよさを，話し合いのポイントに沿って紹介し合うことで，話し合いのポイントの理解をさらに深めることができるようにする。
まとめる	6 学習を振り返ること (5分)	個全	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントに沿って話し合うことができたかを自己評価することで，今後の話し合いへの自信や意欲をもつことができるようにする。 ・次時は，グループごとの話し合いを基に学級全体で話し合いを行い，学級の問題の解決を図ることを確認し，意欲化を図る。 <p>学級の問題を解決するために，進んで話し合おうとしていたか。 < 態度 ></p>
	7 次時の学習の見通しをもつこと (2分)	全	<p>学級の問題を解決するために，進んで話し合おうとしていたか。 < 態度 ></p> <p>賛成・反対などの立場をはっきりさせ，互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合うことができたか。 < 発言 ></p>
次時の学習	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの話題について話し合うこと <p>言語活動</p> <p style="padding-left: 20px;">学級全体で話し合う。</p> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの掲示資料を基に話し合いのポイントを確認することを通して，賛成・反対などの立場をはっきりさせ，互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合うことができるようにする。 		